八雲町立山越小学校
学校だより
まごころ
至誠

開校１５０周年

学校教育目標
自ら考え　行動する子

第６号　令和５年９月１日発行

AI と読解力

教諭　遠藤　優季

皆さん、「チャット GPT」をご存知でしょうか。OpenAI という企業が開発した、チャットサービスです。質問を入力すると、AI が自然な会話形式で回答してくれます。よくされる質問として、「◆◆の名所は？」「〇〇と▲▲を使った料理を教えて」「～という内容を、ビジネスメール風にして」等というものがあるそうです。このような技術は、これからの社会の中でより発展していくと考えられます。しかし、AI 技術の発展により、人と同じように受け答えをするコンピューターが開発されていますが、言葉の意味を理解して答えているわけではないそうです。

さて、山越小学校をはじめ八雲町の小中学校ではリーディングスキルテストという読解力をはかるテストを活用しています。

例えばこんな問題です。

> 以下の２つは同じ意味か。
> Ａ：幕府は１６３９年、ポルトガル人を追放し、大名には沿岸の警備を命じた。
> Ｂ：１６３９年、ポルトガル人は追放され、幕府は大名から沿岸の警備を命じられた。

答えは「同じ意味ではない」です。A と B に使われている単語はほぼ同じですが、主語と「命じた」「命じられた」という言葉に注目して読めば、違うとわかります。しかし、これをチャット GPT に聞いてみると「同じ意味です」という回答が返ってきます。このように「読解」というものは、AI 技術の中でもまだ難しい分野のようです。

私たちが、様々な技術の進歩の中で生きていく上で、文章を読んで理解する、自分の気持ちを正確に相手に伝えるという技術は、AI が発展する社会の中でも必要不可欠な知識です。子どもたちの読解力を育てていくために、学校での学習に加え、お家での読書や会話を大切にしてくだされば幸いです。

9月行事予定

1	金	避難訓練（地震津波）　児童会⑥
4	月	二計測
5	火	つどいハ雲（3年）
6	水	５時間授業
7	木	がん教育（５・６年）
8	金	クラブ⑤
11	月	視力検査
13	水	５時間授業　移動図書
14	木	授業参観
18	月	敬老の日
19	火	４時間授業 草の根教育実習（～20日）
20	水	５時間授業
21	木	ピアサポート学習
22	金	CS旗の波運動
23	土	秋分の日
25	月	福祉体験（5.6年）
26	火	５時間授業
28	木	合同修学旅行（６年）
29	金	合同修学旅行（６年）

素敵な作品がズラリ！（１・２年生）

夏休みが終わり、子供たちの元気いっぱいの声で教室がにぎやかになり、嬉しく思います。夏休み中の思い出を生き生きと話す姿から、子供たちにとって有意義な夏休みだったことが伝わってきました。

夏休み明け初日には、子供たちが一生懸命に取り組んだ自由研究の発表会を行いました。頑張ったところや難しかったところ、見てほしいところ等を中心に発表しました。子供たちは、体を前のめりにしながら発表を聞いていました。質問タイムでは「どうやって作ったのですか？」と質問したり「どんな音がするのか聞かせてください。」と要望を伝えたりしながら、発表者の頑張りを称えていました。発表者だけでなく、聞く方も真剣に取り組み、有意義な自由研究発表会となりました。ご家庭でサポートしてくださり、ありがとうございました。

宿泊研修（５年生）

８月３０日、３１日に合同宿泊研修に行きました。今年度も遠隔での事前学習を行い、「安全に活動する」「迷惑をかけない」「時間に気をつける」など全体の目標を考えました。

いよいよ当日。ネイパル森でのサイクラリーでは、班ごとに話し合いながら、道順を確認したり問題を解いたりする姿が見られました。大沼公園でのカヌー体験では、声をかけ合いながらタイミングを合わせてオールを漕ぎ、前に進むことができました。他校の友達と積極的にコミュニケーションをとり、自分の役割を果たそうとする姿勢が頼もしかったです。保護者の皆様におかれましては、宿泊研修へのご準備・ご協力ありがとうございました。

来月には６年生の修学旅行があります。現在、事前学習で自主研修の行き先をみんなで話し合って決めるなど、準備を進めているところです。

ラディッシュを収穫したよ！（特別支援学級）

６月の自立・生活単元学習では、学級園に植えたラディッシュをたくさん収穫しました。

子供たちは、暑い中、水まき作業に一生懸命取り組みがんばって育ててきたので、大きく育ったラディッシュを見て、「すごい！早く食べてみたい！」など、喜びの声をあげていました。収穫したラディッシュは、手作りした袋に詰めてみんなにお裾分けしました。

モルック初体験

２５日（金）、クラブの時間に八雲町教育委員会体育課の沢さんにモルックを教えてもらいました。モルックとは、モルックという棒を投げて、地面に並べられた１から１２の数字の棒を倒す、フィンランドの伝統的なアウトドアスポーツです。点数が５０点ぴったりになるよう考えながら棒を倒さなければいけないので、頭をかなり使います。

子供たちは、倒した棒の点数を数え、狙い定めた棒を倒すことができるとみんな大喜び。結果に一喜一憂しながら、新しいスポーツを楽しみました。